

みんなで考えよう

～これからの介護予防ケアマネジメントについて語りませんか？～

アンケート

！ アンケートの概要

管内の市町村及び地域包括支援センターの職員を対象として、介護予防ケアマネジメントに係る取組の状況と課題等について実態を把握するために、中国5県の市町村職員の皆さま及び地域包括支援センターの職員の皆さまを対象として実施しました。

！ 回答期間

令和6年6月10日（月）～令和6年6月21日（金）

！ 回答数

市町村：45件

地域包括支援センター：104件（内訳：直営33件、委託71件）

※市町村については、保険者ではなく、個別の市町村への回答をお願いしました。

※直営包括の場合、市町村又は地域包括支援センターのどちらか一方しか回答がない可能性があります。

アンケートに御協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました！

あなたの市町村、地域包括支援センターにおける

介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

多職種連携

ツールの活用

アセスメント・
本人アプローチ

介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

多職種連携

- ▣ 地域ケア会議を活用して、多職種からの助言を受け、個別ケースにおける多職種連携に努めている。
- ▣ 地域ケア会議や介護支援専門員連絡協議会で多職種が参加した事例検討会を実施している。
- ▣ 新規で介護予防サービスを提供する方は全員、地域ケア会議を活用し本人の自立や自己実現のため関係者全体で支援の検討を行っている。また、包括の職員だけではなく、居宅のケアマネにも声掛けし、独自で研修会を実施している。
- ▣ リハ職、栄養士、薬剤師など多職種と連携した取組をしている。
- ▣ 地域ケア個別会議の前に、リハ職訪問で、自宅を訪問し、生活環境を専門職とともに確認し、本人の生活課題の発見につなげている。多職種で関わることにより、多方面からの視点で本人のアセスメントを行っている。
- ▣ 興味関心チェックシートを活用し、目標の見える化と多職種との目標共有。
- ▣ 研修会と個別ケア会議を一本化させ、職員に対する意識づくりを行っている。
- ▣ 最新の社会資源をケアマネに提供し、インフォーマルサービスを位置づけるよう参考にしてもらっている。本人のやりたいこと、できるようになりたいことを達成するきっかけの一つとして社会資源を結び付けて欲しいと思っている。

介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

多職種連携

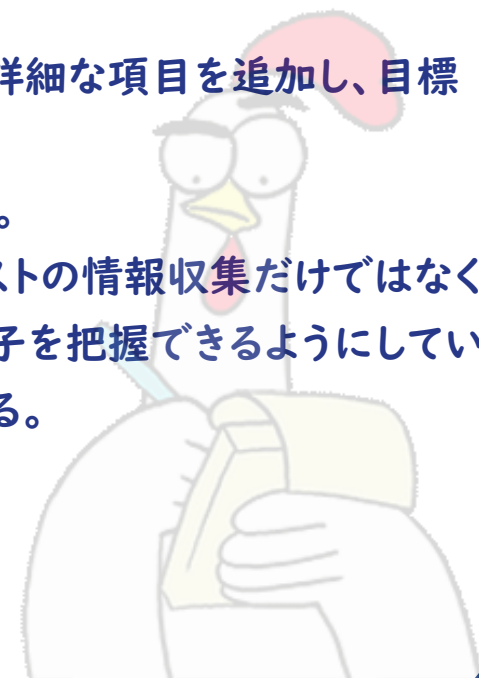
- 支援チームにリハ職がいる場合は、スモールアップの目標設定を共に行う。
- リハビリ職派遣をサービスが動く前に行い、リハビリ職視点を活用している。
- 関わっている医療機関の専門職やサービス事業所とも連携して本人の目指すところの目線合わせを意識して取り組んでいる。



介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

ツールの活用

- 本人が望む生活に近づける用、様々な情報の収集・分析の結果から課題の抽出ができるよう、課題整理統括表をしている。
- 興味関心チェックシートやもしもの時のメッセージ等のツールの活用。
- 統一アセスメントシートの活用で聞き取り内容の漏れがないようにしている。
- アセスメントシートを活用して、日常生活における強みを引き出している。
- アセスメントシートを改善し、口腔・栄養・やりたいこと・なりたい姿など、より詳細な項目を追加し、目標設定が本人の希望になるように工夫した。
- 興味関心チェックシートを活用し、動機づけとなる目標をプランに位置づける。
- 独自のアセスメントシートを作成・活用し、利用者基本情報と基本チェックリストの情報収集だけではなく、健康状態、ADL、IADL、社会参加の状況等を踏まえて、個人因子や環境因子を把握できるようにしている。また、同シートを用いて、本人と家族の思いや希望をそれぞれ整理している。



介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

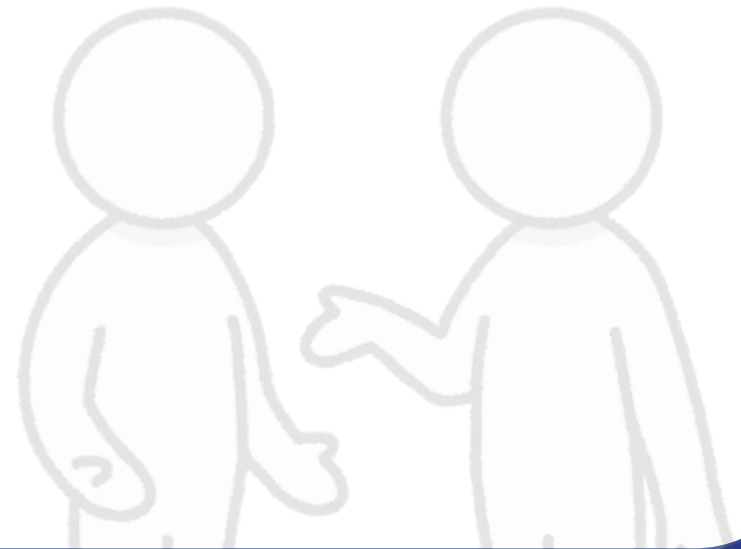
アセスメント・本人アプローチ

- ▣ それまでの趣味や特技、人付き合いなども考慮しながらサービスの調整を行うように努めている。
- ▣ どんな生活を実現したいか、どんな自分になりたいかなど利用者や家族、サービス事業者と目標を明確にするよう心がけている。
- ▣ 本人の強みを見つけ、できないことに着目しないようにしている。
- ▣ インテーク・アセスメントの段階で、その方の役割や参加の状況をしっかり把握し、ご本人の意欲を引き出す目標設定に心がけている。場合によっては、理学療法士等に専門的なアドバイスをいただき、プランに反映させるようにしている。
- ▣ 生活歴、1日の流れなどから掘り下げて聞き取っている。
- ▣ 今できていることを称賛し、自己有用感を高めてもらう。
- ▣ 利用者の強みを聞き出すことを念頭に置き、アセスメントしている。
- ▣ 本人のやる気につながるように働きかけるような声掛け。
- ▣ 目標は意欲が持てるよう出来るだけ身近で評価が明確になるよう意識している。
- ▣ 「〇〇で〇〇できない」から「〇〇だけど〇〇したい」など本人の意欲が向上するような表現を心がけている。

介護予防ケアマネジメントの **強みや工夫** は何ですか？

アセスメント・本人アプローチ

- 本人の意欲を高めるような声かけを大切にして、やらされるのではなく自発的に出来る状況を作ること。
- 本人が何を望み何が出来るかを考えて、出来そうな事から始められるよう一緒に考える。
- ご本人の生活歴や趣味、時代背景や地域との関係や、それに対する思いなどをよく聞き、参加や活動の動機付けができるように心がけている。
- 生活歴をしっかり聞き取る。趣味を聞く。調度品、写真などに関心を向ける。



介護予防ケアマネジメントの **課題** は何ですか？

住民への周知・
セルフケアマネジメント

実務面

本人アプローチ

資源

あなたの市町村、地域包括支援センターにおける

介護予防ケアマネジメントの **課題** は何ですか？

住民への周知・セルフケアマネジメント

- 介護予防に対する認知度が低いので、今後は行政から情報発信していかなくてはならないと感じている。
- 市民に自立支援という概念が根付いていないように思う。
- 介護保険を卒業しセルフケアマネジメントと社会参加につながるサイクル、自立支援の概念の醸成。
- 住民の中ではフォーマルサービスの利用だけが機能回復につながるとの認識が根強くあること。



介護予防ケアマネジメントの **課題** は何ですか？

実務面

- 介護予防ケアマネジメントの評価、検証の場が持てていない。
- 目の前の困りごとに対するプランになりがちのように感じている。今できる予防支援は何かアセスメント力を高めていく必要があると思っている。
- 個別の事例検討を開催しているが、事例を提出するや参加することが業務の負担となっている。
- 時間がかかる。
- 目標が本人からうまく引き出せない。
- 実際の会議等での助言が、自立支援・介護予防に資するケアマネジメントにつながっているかどうかの評価ができていない。



介護予防ケアマネジメントの **課題** は何ですか？

本人アプローチ

- ❑ 本人の意欲をどう引き出すか。
- ❑ 本人と家族の思いが異なるがどちらの思いも理解できるときがある。
- ❑ 本人から目標が出てこないときや家族と本人の意向が異なるとき。
- ❑ 特に趣味や日課もなければ、目標もないという方に対して、半ば誘導尋問のように短期目標・長期目標等を設定してしまうときにこれでよいのだろうかと悩む。
- ❑ 利用者が目標を持ち前に進むという意識が薄く、目標が立てにくい。本人をその気にさせることが課題と感じている。
- ❑ 自分を認め、前向きに物事を考えてもらえるような働きかけが大切。
- ❑ 「できないことをしてあげる」支援者側視点から、「できること・したいこと」に着目する本人視点の支援が提供できるよう、動機づけをしながら関わること。



介護予防ケアマネジメントの **課題** は何ですか？

資源

- ▣ 地域や事業者側の人材不足等により受け入れの許容量が不足していること。
- ▣ 社会資源が少なく、本人の「したい」ことを引き出すことや希望に沿った資源の活用が難しい。
- ▣ 介護サービスが限られている地域のため、選択肢が少なく、インフォーマルサービスも少ない。
- ▣ 地域の資源が少ない。
- ▣ 交通、移動手段の不便さ。
- ▣ 社会資源が乏しく、本人の「したい」を引き出すことや希望に沿った資源の活用が難しい。

